



11月30日(土)

埼玉県立大学 講堂 14:00~16:00

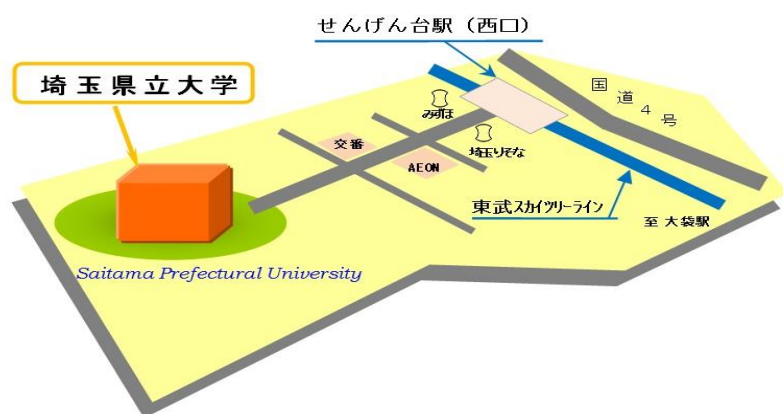
生き抜く力。 終活ではなく“^{まっとう}全う”してこそ

～医療・福祉の専門家と一緒に“最期”を語ろう～

いま「人生会議」(ACP/アドバンス・ケア・プランニング)という人生の最終段階における治療・ケアに関する話し合いが推奨されています。

しかし、日々の生活の中では、心肺蘇生のことや、自宅での看取りのことなど家族と話し合ったり、かかりつけの先生に質問したりはできますか。

でも、難しいことはありません。自分らしく前向きに『生き抜く』ために、地域の現場で活躍している専門家と楽しいゲームを使って、共に語りあいましょう



大切にしたいのは
痛みがない? 管がない?
家族との時間?

参加型で楽しく、自分の
最期を考えましょう。

参加費 無料
定員 200名
申し込み不要

もしばなゲームと
看護師、救急救命士、
薬剤師等、多職種による
現場体験談

市民の方、専門職の方
どなたも参加できます。

主催 埼玉埼葛南専門職
連携推進ねっとわーく
ファックス 048-999-5939
メール
saikatsu2006@gmail.com

当ねっとわーくは医療と福祉を
多職種でつなぐクリエイター
集団です。

共催 埼玉県立大学

【当日の流れ・研修のねらい】

人生会議、終末期のガイドライン、エンディングノート、看取り。覚悟をしたと言っても亡くなることなのか、延命によって長い介護となるのか市民には取捨選択できる情報が少ないのが現状です。地域の一线で活躍する専門職だからこそ言える『生き抜くこと』へのメッセージを送ります。自分らしく全うできるよう、生き抜く^{えんめい}援命・寄り添う^{えんめい}沿命・選ぶ命、^{えんめい}得命を語りましょう。専門職の参加もお待ちしております

【第一部】『もしばなゲーム』から考えよう	
挨拶 埼玉埼葛南専門職連携推進 ねっとわーく について	埼玉県立大学 社会福祉こども学科 准教授 小川 孔美
ACPについて	埼玉筑波病院 薬剤師 土居 努
『もしばなゲーム』実演・体験してみよう	越谷市医療と介護の連携窓口 野上 めぐみ・松家 まゆみ 草加八潮医師会在宅医療サポートセンター 高橋 恵子・橋 嘉代子
【休憩・第二部】『本音トーク』～こんな時・こんな選択～	
1、心肺蘇生はどうするの？ ～119番通報する意味とは～	民間救急介護タクシーすまいる 救急救命士 鈴木 明人
2、在宅ケア/訪問診療 ～延命・看取りとグリーンケア～	草加内科呼吸器ケアクリニック 副院長 新 智美
3、食べること、胃ろうって？ ～誤嚥しないためのポジショニング～	訪問看護ステーション 夢 看護師 佐藤 厚子 リハビリテーション天草病院 理学療法士 阿部 高家
4、がん/緩和ケア ～終活はもう古い、私らしく生き抜く～	みさと健和クリニック介護保険相談室ケアマネージャー 森幸枝
5、透析ってやめられない？ ～あなたの選択を支えるソーシャルワーカー～	秀和総合病院 ソーシャルワーカー 竹野 みはる
6、各市のエンディングノートやACPの 取り組みについて	草加八潮医師会在宅医療サポートセンター 橋 嘉代子
朗読、今日の振り返り 閉会	福祉のサラダ館 福祉用具専門相談員 程田 香織 三郷市地域包括支援センターみさと南 佐藤 厚志

専門職、関係機関の方で参加を希望される方は、右記申込フォーム <https://forms.gle/79aTcq3rnEraJbNt8>

又は **FAX : 048-999-5939、右 OR コードよりお申込みください。 ※締め切り 11月15日**

ふりがな 氏名	市町村	所属	職種・一般



※足りない場合はコピ
ーしてお使いください

埼玉県立大学へのアクセス

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地

◆東武スカイツリーライン「せんげん台駅」西口からバス 5 分（徒歩 20 分）

埼玉埼葛南専門職連携推進ねっとわーく とは

2006 年より「埼葛南専門職連携推進会議」として保健医療福祉分野の専門職連携に係る人材の育成、地域の医療機関や福祉施設等と連携した保健医療福祉ネットワーク化の促進により、専門職連携教育（IPE）と専門職連携実践（IPW）を両輪としたケアの質の向上、地域での専門職連携における課題、解決策を目指し

活動しております。2019 年度から「埼玉埼葛南専門職連携推進ねっとわーく」に名称が変更となりました。

